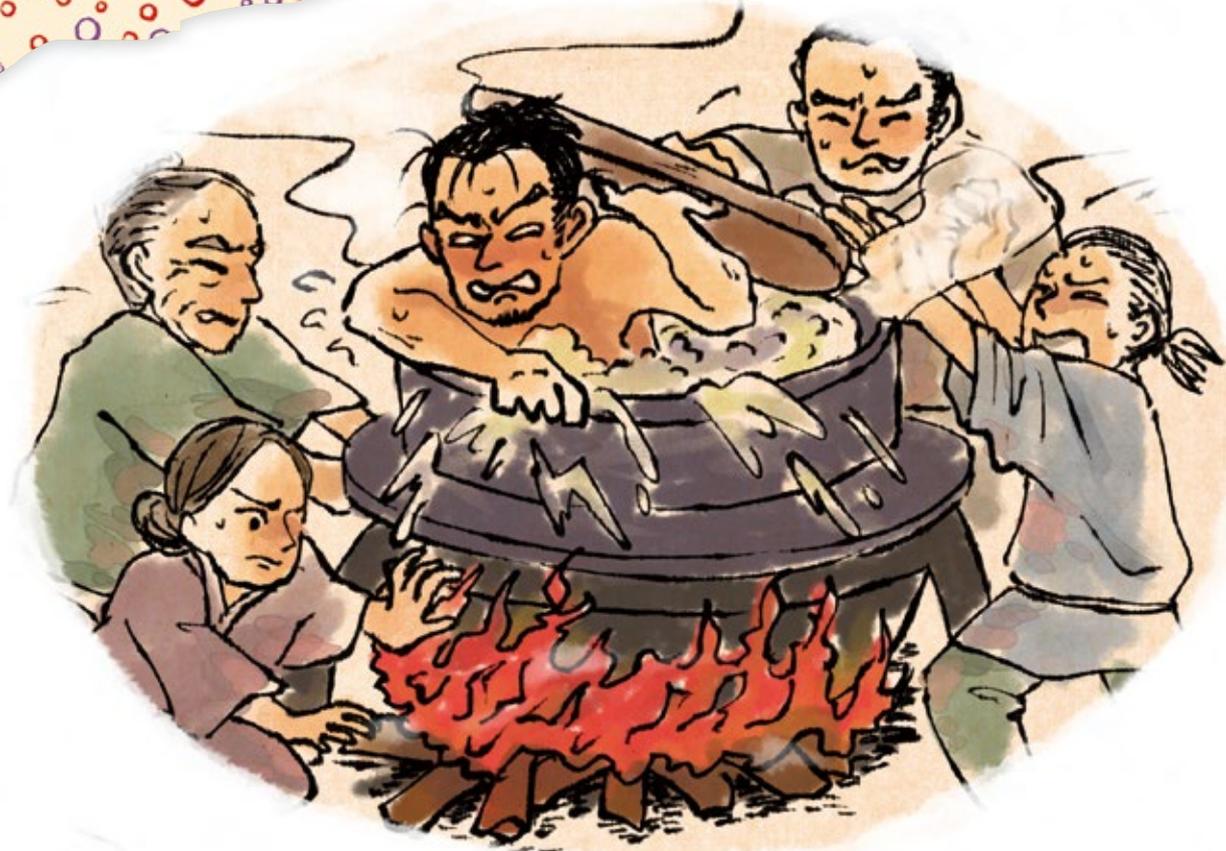


伝承の地を訪ねて



「坂本しんざえもん」 「美方郡新温泉町鐘尾」

村人を困らせた悪侍の物語

昔、新温泉町鐘尾の村に『坂本しんざえもん』という侍が住みつき、百姓を脅しては米やお金を取るなど村人を困らせていた。そこで村人たちは力を合わせて、悪侍のしんざえもんを懲らしめることを計画する。

村人たちは風呂を作り、しんざえもんを迎えにやると喜んでやってきた。いい気分で風呂に入るしんざえもん。「湯がぬるい、もつと焚け」と言うので、村人たちはどんだん薪をくべ、時を見計らってみんなでかけ寄り風呂に大きな蓋をした。さらに蓋に石を乗せると「悪侍め、よくも村の者をいじめたな!」と、口々に叫びながらしんざえもんを熱くなった風呂の中に閉じ込めた。

なんとか蓋を押し上げ風呂の外に転がり出たしんざえもんだったが、「人を蒸し殺してこのばちあたりめ!呪ってやる!」と叫ぶと、そのまま死んでしまった。

あくる年、鐘尾の村に疫病が流行り村人が次々に死んでいった。村人は「しんざえもんのたたりだ」と恐れ、神主をよんで霊を祀り、祈念に杉の木を植えた。

現在、多類神社境内の下、石段の横手に坂本しんざえもんの杉があり、ご神木として祈念されている。

《協力》新温泉町教育委員会生涯教育課



正式名称「多類大明神」



至鳥取

振袖記念日

大切なおもい

お誂え派 My styling

あなたの個性にスペシャルサポート
きもの屋だから心を込めてこだわるスタイリング

ママ振り派 MaMa styling

母から娘へ時を超えて 今どきスタイリングへ
アレンジコーディネーターへお気軽にご相談ください

購入特典

■無料着付フルサポート

Ⓜ前撮り Ⓜ成人式

ヘアー(BLOWHAR)&メイクアップ
髪飾り付き・フリーショット撮影付き

着用後のケアも安心

■お手入れクリーニング

汚れ落とし無料



KIMONO SALON KEITANI

〒668-0084 兵庫県豊岡市福田1887-1
フリーダイヤル 0120-529-008
kimonosalon-keitani@live.jp



大切なきものを いつまでも美しく



ハイスクールキラリ組

“キラリと光る”但馬の子どもたち！
未来を担う高校生をご紹介します

be to HERO 05

みのりと食科 草花コース

【兵庫県立但馬農業高等学校】

但馬農業高等学校は但馬唯一の単独農業高校。6次産業を推進し果樹・草花・野菜の栽培を学ぶ「みのりと食科」、但馬牛を中心に豚・鶏など家畜を専門に学ぶ「総合畜産科」といった、特色豊かな専門科が魅力です。今回は八鹿駅の花壇整備活動について取材しました！

見頃の花でお出迎え 養父市の玄関口を彩る円形花壇！

いろいろ



この花壇を整備している草花コースの3年生19名。駅に降り立つ人への「ようこそ！」の気持ちを込め作業を行なった。



11月ごろはシクラメンが見頃です！一度温室に遊びに来てください！



中尾 翔貴くん

山下 哲平くん

花に興味が出たらぜひ育ててみてくださいね！
旬の花は八鹿駅の花壇を参考に！

植えてある花はもちろん、看板も僕たちの手作りなんです！



花が育てられた温室。甲子園球場の約4倍の広さを誇る学校敷地内には、温室から但馬牛舎まで幅広い専門施設が揃っている。

北見 太一くん

上村 竜靖くん

育てた花は学校内で対面販売も行っており、10月下旬からはシクラメンを販売している。購入希望者は平日の8:20～16:00 同校温室まで。(問)079-662-6107

養父市の玄関口として多くの人を
出迎えてくれるJR八鹿駅。改札を
出ると広いロータリーがあり、その中
央の円形花壇では手入れされた花が
生き生きと咲いている。

この花壇を手がけているのが、但馬
農業高等学校のみのりと食科の草花
コースの生徒たちだ。平成30年より年
2回、生徒が主体となってガーデニン
グを行なっている。使っている花はほぼ
全て同校内で栽培したものだ。

かつては噴水として地域を癒してい
た円形花壇。当初は駅前住民が手入
れを行なっていたが、管理する養父市
は「この場所をもっと活用するにはど
うしたらよいか」と考えた。そこで声
をかけたのが、若い感性と確かな園芸
知識を持つ但馬生たちだった。

花壇のテーマも生徒たちが考えてい
る。通年テーマである「養父市」に加え
「夏の自然」や「やぶLOVE」など、
特色あるメッセージを草花に託し、花
壇として美しいよう組み立てる。

「初夏の花壇は色鮮やかなマリー
ゴールドを中心にデザインしました。
頭に浮かんだイメージ図を実際の花で
どう表現するかが難しかったです」と
山下哲平くん。

花を選びました。花壇を見て、い
なぐと思つたらすぐ真似できるように、
ホームセンターでも手に入れやすい身
近な植物を中心に構成しています」と
と、時勢に合わせたこだわりを教えて
くれた。

花壇に使っている花は一部学校内
でも販売しており、丈夫で長持ちす
ると地域住民からも人気だ。

通学のため毎日八鹿駅を使うとい
う上村竜靖くんは「自分たちが汗を
流し育てた花なので自信があります。
多くの人に見てもらえて嬉しいです」
と顔をほころばせた。日頃学んだ成
果を花壇で発表できることで、生徒の
やりがいにも繋がっている。

晩秋には花壇を冬仕様に植え替え
る。電飾を用い、年末年始を祝う華や
かな花壇にしようと構想は尽きない。
養父市では、来年度にワールドマス
ターズの開催や新しい市民会館の完成
も予定されている。但馬をあげたヒッ
ガイイベントに花を添えたいと、未来への
意気込みを語ってくれた。

「これからも市のPRになるよう
な花壇づくりを目指します！ぜひご
期待ください。」

そう声を合わせる彼らが育てた
花々は、但馬に降り立つ人々に笑顔
を咲かせることだろう。